

遊戯動  
風

作歌  
作曲 萩茂  
原木由  
英由子

□歌 詞

たこくゝあがれ あがれくゝあがれ

うへゝあがれ たかくあがれ

あがれくゝあがれ

あれくゝとんだ とんだくゝとんだ

あつちへとんだ こつちへとんだ

とんだくゝとんだ

あれくゝまつた まつたくゝまつた

くるくゝまつた くるまつた

まつたまつたまつた

くるくゝくるくゝくるくる

風

歌子由木茂  
一曲英萩

調  
2/4

<u>1 5 1 5</u> タ コ タ コ	<u>2 3 2 0</u> ア ガ レ	<u>5 5 5 3 1 1</u> ア ガ レ ア ガ レ	<u>2 3 2 0</u> ア ガ レ
<u>3 . 2 1</u> ウ エ ヘ	<u>5 6 5 0</u> ア ガ レ	<u>5 . 1 3</u> タ カ ク	<u>2 2 1 0</u> ア ガ レ
<u>3 3 5 2 2 3</u> ア ガ レ ア ガ レ	<u>1 1 1 0</u> ア ガ レ	<u>4 3 2 5</u> ア レ ア レ あ れ あ れ	<u>3 2 1 0</u> ト ン ダ ま つ た
<u>5 6 5 1</u> ト ン ダ ト ン ダ ま つ た ま つ た	<u>2 2 2 0</u> ト ン ダ ま つ た	<u>5 5 5 3 1</u> ア ヅ チ ヘ ト ン ダ く る く る ま つ た	<u>6 6 6 5 3</u> コ ヅ チ ヘ ト ン ダ く る く る ま つ た
<u>1 2 3 2 4</u> ト ン ダ ト ン ダ ま つ た ま つ た	<u>3 2 1 0</u> ト ン ダ ま つ た	<u>5 6 5 4 3 2 1 2</u> ク ル ク ル ク ル ク ル	<u>3 2 . 5</u> ク ル ツ
			<u>1 0</u> ク ル

□律動  
遊戲 凧

振付 土川五郎振

たこくく……：腕を屈して両手を胸前に出し糸を持てる如く

し右上方に揚げる凧を見つゝ左下方にこづくこと二回。

あがれ……：前の如くすること三回。

あがれくあがれ……：右手を左側下方に左手を右上に、次

に左手を左側下方に右手を右上方に糸をくだること四

回。

う……：右足一步右へ兩手を右上方にあけ。

へへ……：右足を左足の後方より左方にはねる時兩手を左側

下方に上體を右方に傾く。

あがれ……：右手を右上方に左手を左下方に開き右上方を見

つゝ右足にて跳躍三回。

た……：「う」と合じしことを左方に行ふ。

かく……：「へへ」と合じしことを左方に行ふ。

あがれ……：「あがれ」と同じしことを左方に行ふ。

あがれあがれく……：内方を向き兩足を揃へ、兩手を兩側

方に掌を向き合せてあけ次第に頭上にあぐ「あがれ」

にて二回次のあがれにて二回又二回と次第に上方にあ

ぐ。

あれ……：右足一步後方へ兩手を下にして拍手一回す。

あれ……：兩手を左右に開き掌を下し指先を下方に左上を眺

む。

とん……：拍手一回左足を後方に引く。

だ……：兩手を左右に開くこと「あれ」と同じくして右上方

を眺。

とんだくとんだ……：兩手を左右に開き掌を下に左足より

跳躍四回。

あつちへとんだ……：左足より左方へ三步し「とんだ」にて左

食指にて左上方を指す。

こちらへとんだ……右方へ同じくす。

とんだく……とんだ……上體を少しく屈し軽く手を振りつゝ、

右方より駢足(四歩)にて廻はる。

あれく……前のあれくと同じ。

まつた……とんだと同じ。

まつたく……まつた……両手を高くあげて手先きを左右に交

互に運かしそれを見つゝ足踏八回。

くるくるまつた……前の「あちちへとんだ」と同じことを行

ふ。

くるく……まつた……前の「こつちへとんだ」と同じことを行

ふ。

まつたく……まつた……左方より駢足にて廻り内方を向く。

くるくるく……左足を右足の右へ右足を軸にして右方へ

まはり内面す。

くる……両手を高く頭上に掌を向き合す。

くる……左足を後方に引き左膝を床に蹲踞し上體を前に屈

して下方を向く、あげたる両手を前方より下ろし更に  
左右後方に八の字形に張る。

## ○幼稚園保育要目

永く本誌に連載して居た、萬國幼稚園協會案の保育要目を、更に校訂して出版することとし、既に印刷を了し、近刊の運びになつて居ります。現代の新らしい保育原理の思潮に基いて編纂せられた要目として、實際家にも、幼稚園の研究者にも、最も有益なるものとしておすゝめします。今日の幼稚園教育を論ずるものは、何人も此の要目を一讀して置かなければならないともいへます。稚幼園がどういふ性質のものであるかといふことを知るためにも、最も適切な参考書です。本誌發行所敎文書院の發行です。